

ネイルケア

両手
10本

ネイルテクニックのベーシックであるケアを、手指消毒に始まり、ポリッシュオフ、ファイリング、キューティクルクリーンまで行う。

- 手指消毒は指先、指間にいたるまでしっかりと清拭する。
- ポリッシュオフは細部までしっかりと行う。
- カットスタイルはラウンド。
- フリーエッジは長い場合でも5mm以下とする。(10本のバランスを整えること)
- ナチュラルネイルのファイリングは、エメリーボードを使用すること。
- 仕上げ用パフ使用可。
- メタルプッシャー使用可。

使用を禁止する用具、用材

- ・ストーンプッシャー・セラミックプッシャー
- ・マニキュアマシン・シャーミー(革製)パフ
- ・オイル・その他規定外の用具、用材



第1課題終了(例)

検定試験では、第1課題、第2課題を連続して行いますが、第1課題はネイルケアの技術を確認するものであり、第2課題であるジェルネイルの前工程を表すものではありません。

インターバル [5分]

第1課題の片付け、第2課題の準備等

手指消毒から始め、左手5本にポリッシュカラーリング、右手5本にジェルカラーリングを施す。さらに右手中指にはジェルカラーリングの赤色のベースに映えるジェルアート(ピーコック)を施す。

- ポリッシュカラーリング、ジェルカラーリング、ジェルアートの順番は自由。
- 第1課題免除者は、事前に両手を第1課題終了時の状態に仕上げしておくこと。
- 第2課題も両手手指の消毒から始めること。



第2課題終了(例)



ジェルアート作品(例)

ポリッシュカラーリング

(赤)
左手
5本

左手5本の指にポリッシュカラーリングを施す。必ず、ベースコート、カラーポリッシュ(2度塗り)、トップコートまで仕上げる。

- 手指消毒は、指先、指間にいたるまでしっかりと清拭すること。
- リッジフィラー使用可。
- カラーポリッシュの商品は指定しない。

- カラーポリッシュは真赤(パール・メタリック入りは不可)。
- カラーポリッシュは2度塗りする。
- 裏面もカラーリングする。エッジのみでも可。
- 仕上げはトップコートまでとする。

使用を禁止する用具、用材

- ・オイル・その他規定外の用具、用材

ジェルカラーリング

(赤)
右手
5本

右手5本にジェルカラーリングを施す。必ず、ベースジェル、カラージェル(2度塗り)、トップジェルまで仕上げる。

- 手指消毒は、指先、指間にいたるまでしっかりと清拭すること。
- プレパレーション(サンディングから始める)は第2課題時間内に行うこと。
- ベースジェル、カラージェル、トップジェルは指定商品(5ページ参照)を使用し、使用する用材を受験票記入欄に記入し、当日持参すること。
- ベースジェルを塗布し、カラージェルは2度塗り、仕上げはトップジェルを使用する。

- カラージェルは指定商品リスト(5ページ参照)の赤指定色を使用すること。
- 必ずカラージェルは2度塗りし、エッジも塗布すること。
- 5本の爪の長さは揃えておくこと(フリーエッジの長さは5mm程度)。リペアは2本まで可。
- ジェルネイル商品の容器詰め替えは不可とする。 ※必ず、指定商品の容器のまま持参すること。

使用を禁止する用具、用材

- ・オイル、クリーム類・ストーンプッシャー・セラミックプッシャー
- ・光重合で硬化させないUVカットのためのトップコート類・木製のつまようじ、竹串等、材料のかくはん用として、衛生的な措置が施せないもの・シャイナー等・その他規定外の用具、用材

ジェルアート

右手中指

右手中指にカラージェルを使用し、ジェルカラーリングの赤色のベースに映えるジェルアート(ピーコック)を施す。

- アート用のカラージェル(ラメ、グリッター、パールが入ったものでも可)は指定商品リストにあるブランドの商品を使用すること(5ページ参照)。
- ジェルアートは筆のみで描くこと。
- ラメ、ラインストーン、ホログラムの使用可。

- カラージェルやラメ等をミックスする際、ペーパーレットの使用可。
- アート用ステッカー(アートシール)は使用不可。
- 図案等の参考資料の持込禁止。
- 仕上げはトップジェルを使用すること。

使用を禁止する用具、用材

- ・アート用ステッカー(アートシール)・木製のつまようじ、竹串等、材料のかくはん用として、衛生的な措置が施せないもの・シャイナー等・オイル、クリーム類・光重合で硬化させないUVカットのためのトップコート類・その他規定外の用具、用材

試験に使用するジェルネイル商品について

この試験で使用するジェルネイル商品(ベースジェル、カラージェル、トップジェル)は下記の中から選んでください。試験当日に使用する商品を申請してください。(受験票に記入欄を設けます。)

■指定商品リスト

50音順

ブランド名	ベースジェル	カラージェル		トップジェル	備考欄
		シリーズ名	赤指定色		
アイビーディー	ソークオフクリアジェル	ソークオフジェルポリッシュ	パッション	ソークオフクリアジェル	ソークオフ
	クリアジェル	ジェルポリッシュ	エレクトリックレッド	クリアジェル	ハード
			レッドホット	ウルトラシール	
			バーンベイビーバーン	インテンスシール	
			フレンチエクストリームジェルクリアー		
アクセント	ベースングロス	オプションズポリッシュカラーズ	クラシックレッド #003	ベースングロス	ソークオフ
	オブティボンド	ジェルアートカラーズ	レッド #604	オプションズクリア オプションズピンク	
	ボンディング	オプションズポリッシュカラーズ ジェルアートカラーズ	クラシックレッド #003 レッド #604	トップグロス	ハード
イージーフロウ		オルタナティブソークオフジェル	ホットティー #38082	オルタナティブソークオフクリアービルダージェル	ソークオフ
	ジェルイットクリアイット			ジェルイットフィニッシュイット	ハード
オービーアイ	アクシウムソークオフジェルベース	アクシウムソークオフジェルラッカー	ビッグアップルレッド#AX412	アクシウムソークオフジェルシーラー アクシウムソークオフジックジェルシーラー	ソークオフ
	アクシウムジェルベース			アクシウムノークレンズUVトップシーラー アクシウムクリアーオーバーレイジェル	ハード
クリストリオ	ビルダークリア	ジェラッカーカラー	レッドNo.270	パーマッシュインジェラッカー	ソークオフ
	スカルプチュアクリアジェル	デザイナージェル	レッドNo.29	クリアジェル	ハード
	クリアジェル				
	ナチュラルジェル				
タミーテ일러	ソークオフネイルジェルクリア	ソークオフネイルジェル	レッド	ソークオフネイルジェル クリア ソークオフネイルジェルクリアUV	ソークオフ
ノビリティー	ノビリティークリアジェル ソークオフフォーミュラ	ノビリティーソークオフ フォーミュラ カラージェル	Passion Red Apple Red	ノビリティージェルトップ	ソークオフ
	レチャットジェルベース			プロテック レチャットジェルトップ	ハード
ノーリフトネイルズ	ノーリフトジェルクリアジェル	ノーリフトジェル カラージェル EX	5RED	ノーワイフトップコート	ハード
	ノーリフトジェルプライマージェル			クリアベール	
バイオスカルプチュアジェル	クリアジェル	カラージェル	Pillar Box #19	Sジェル	ソークオフ
	スカルプティンダジェル			Cherry Ripe #20	
	シーラージェル				
プレスト	クリアジェル	カラージェル	ノビル #80	トップジェル	ソークオフ
メルティジェル	メルティジェルクリアジェル	メルティジェル カラージェルEX	5RED	メルティジェルトップジェル	ソークオフ
				メルティジェルクリアジェル	

- ・第2課題ジェルカラーリング(赤)で使用するカラージェルは上記「赤指定色」のいずれかを選択してください。
- ・上記指定以外の商品を使用した場合は失格となります。
- ・ジェルアートで使用するカラージェルも上記ブランドの商品を使用してください。
- ・ベースジェル、カラージェル、トップジェル以外の商品の選択・組み合わせは自由です。
- ・同一ブランドのもので統一することが望ましいですが、必須条件ではありません。
- ・ライト(光重合を行うための紫外線、可視光線を発光する機械)は上記ブランドのものを使用することが望ましいですが、必須条件ではありません。
- ・このリストは今回の試験の指定商品リストです。次回以降の試験では、上記以外のブランド・商品が追加・変更される場合があります。
- ・ジェルネイル商品の容器詰め替えは禁止です。必ず指定商品の容器のままお持ちください。
- ・同一商品でベースジェルとトップジェルを兼用する場合も、必ず商品は2つ用意し、それぞれに品名ラベルをお貼りください。
- ・上記商品であれば、ハード、ソークオフの種類は問いません。(ハードとソークオフの組み合わせも自由)

試験における失格／減点事項

失 格 事 項

- ・遅刻(入場時間内に指定会場へ入場していない場合)
- ・カンニング等の不正行為を行った場合
- ・事前審査やインターバル、実技試験終了後に手を加えた場合(モデルも同様)
- ・用具、用材を忘れた場合や事前審査開始後に貸し借りをを行った場合
- ・試験官の指示に従わない場合
- ・実技試験におけるタイムオーバー(時間内にすべて終了しなかった場合)
- ・手指への著しい損傷を与えた場合(モデル・受験生ともに)
- ・手指を間違えた場合
- ・第1課題において事前に赤ポリッシュをモデルの爪に塗布していない場合
- ・使用を禁止している用具、用材などを使用した場合
- ・指定以外のジェルネイル商品を使用した場合
- ・モデルが試験中に受験生にアドバイスをを行った場合
- ・ウェットステリライザーを用意していない場合
- ・第1課題時間内に第2課題の内容を行った場合
- ・アート用にステッカー(アートシール)を使用した場合
- ・ネイルアートの圖案などを持ち込んだ場合

減 点 事 項

- ・用具、用材が整理整頓されていない場合
- ・用具、用材を直接テーブルに置いた場合
- ・品名ラベルを必ず貼る用具、用材にラベルを貼っていない場合やアルファベット表記の場合
- ・消毒が不適切と認められる場合(手指及び用具消毒)※
- ・私語の多い場合やマナーが悪い場合(モデルを含む)
- ・ゴミを持ち帰らない場合
- ・手指へのダメージを与えた場合(モデル・受験生ともに)
- ・第1課題においてモデルの爪が明らかに事前手入れされている場合
- ・第1課題において事前のポリッシュ塗布が手抜きである場合
- ・第2課題のプレパレーションを事前にしている場合
- ・第2課題を手指消毒から行わない場合
- ・第2課題で第1課題と同じ工程を繰り返し行った場合
- ・イクステンションとリペアを合わせて3本以上施している場合
- ・イクステンションとリペアを施した爪がナチュラルネイルの色と形に合わせて対応していない場合
- ・イクステンション、リペア以外のナチュラルネイルにウォッシュアップファイルを使用した場合
- ・ブラシダウンを行わない場合
- ・受験票を忘れた場合や受験票に写真が貼付されていない場合

※試験中に用具類を落とした場合は、監査官又は試験官に手を挙げて連絡し、自分で拾い、手指及び用具消毒を行った後、「消毒しました」と挙手をして申告すること。
(再使用しない物は、消毒を行わなくてもよいが、落とした物を拾う行為に対して手指消毒を行うこと)

受験に際しての注意事項

- ・免除者を除いて、実技試験のみ、あるいは筆記試験のみの受験はできません。
- ・受付は行いませんので、会場に着席位置を必ず確認すること。着席間違いは自己責任となります。
- ・試験に必要な物はすべて持参すること。
- ◎受験票
- ◎実技試験に必要な用具一式(予備の材料、道具は各自の判断でお持ちください)
- ◎筆記試験用の鉛筆 または シャープペンシル(HB またはB)、消しゴム(よく消える物)
※ボールペン・サインペン等は使用できません。
- ・ライトの故障等への対応はできません。自己責任となります。
- ・実技試験の際の手回りのアクセサリは時計のみとする。(モデルも同様)
- ・受験生は、ネイリストとしてふさわしいネイルケアを施すこと(カラーリングは自由)。服装も自覚と節度をわきまえること。
- ・ゴミはすべて持ち帰って処分すること。
- ・当協会では、試験内容に関するご質問は一切受け付けておりません。

受験会場まで飛行機を利用される方へ

液体の用材の機内持ち込み、及び預け入れが禁止される場合がありますので、下記の点を厳守してください。

- ① 別容器には詰め替えないでください。
- ② ネイル専用商品と分かるように、成分表示ラベルをはがさないでください。

申し込み方法

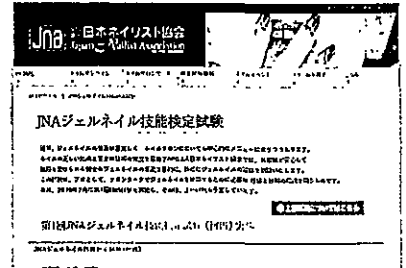
試験のお申し込みは、インターネット(PC・携帯)からのみ受け付けております。
JNAホームページよりお申し込みください。(12月7日(月)11:00受付開始)
受験料のお支払いはクレジットカード決済かコンビニ決済のいずれかとなります。
(郵送等での申し込みは、受け付けておりません)

■NPO法人日本ネイリスト協会ホームページ

<http://www.nail.or.jp>

※JNAジェルネイル技能検定試験ページをご覧ください。

携帯電話からも
お申し込み可能です。
右記QRコードを
ご利用ください。



申し込みから合否発表までの流れ

申 込 期 間

2009年12月7日(月)11:00~25日(金)17:00

※ただし、定員になり次第締め切らせていただきます。インターネットのお申し込み画面でご確認ください。

受 験 票 発 送

2010年1月20日頃

受験票はハガキ(圧着式)で送付いたします。

お 問 い 合 わ せ 期 間
(受験票未着等)

2010年1月25日(月)~29日(金)

1月24日(日)までに受験票が届かない場合、または住所・名前に誤りがある場合は、
必ず1月25日(月)~1月29日(金)の期間内に下記申込受付センターまでご連絡ください。

※受験票は試験終了後も大切に保管してください。

試 験 当 日

2010年2月13日(土)・2月14日(日)<東京地区>

2010年2月27日(土)・2月28日(日)<大阪地区>

試験当日は受験票を必ずお持ちください。

※欠席の場合、事前連絡は不要です。

※試験当日のお問い合わせは当協会事務局まで、ご連絡ください。会場への連絡は受け付けていません。

合 否 通 知 発 送

2010年3月下旬

※合否通知はハガキ(圧着式)で本人宛に送付します。

※合否通知は大切に保管してください。

合 格 証 ・ 資 格 バ ッ ジ 発 送


2010年4月下旬

合格者には合格証(ディプロマ)・資格バッジを送付します。

※試験内容、スケジュール等は変更になる場合があります。受験票で確認してください。

個人情報の取り扱いについて

当試験にお申し込みされた方(以下「申込者」)の個人情報は、申し込みいただいた試験の実施に必要な範囲内で、その目的の達成に必要な限度に応じて使用いたします。また、この個人情報の収集は、適法かつ公正な手段によって行われるものとします。当試験の運営団体であるNPO法人日本ネイリスト協会(以下「当協会」)は、申込者から収集した個人情報を申込者本人の書面による同意なしに第三者に開示することは原則としてありません。試験終了後、当協会または当協会が業務を委託する団体から、次回以降の試験やその他当協会の事業に関する情報をダイレクトメール、電話、Eメール等でご案内させていただくことがあります。ご案内を中止されたい方は当協会までご連絡ください。

 NPO 日本ネイリスト協会
法人 Japan Nailist Association
Non-Profit Organization

〒100-0014東京都千代田区永田町2-14-3 赤坂東急ビル5F
TEL.03-3500-1580 FAX.03-3500-1608 <http://www.nail.or.jp>

JNAジェルネイル技能検定試験 申込受付センター

TEL.03-3292-8561 (受付時間: 土日祝を除く
平日10時~17時)

※試験内容についてのご質問はご遠慮ください。

※当協会では試験内容に関するご質問は一切お受けいたしません。この要項を熟読してください。

※試験内容、スケジュール等は変更になる場合があります。受験票で確認してください。

※ホームページ上に検定試験Q&Aを掲載していますので確認してください。

※追記が発生した場合、随時ホームページ上で案内しますのでよく確認してください。

©2009 Japan Nailist Association Printed in Japan ※無断転載・複製を禁ず

2009.11.16

ネイリスト技能検定試験 受験者数/合格者数推移表

	1997年春 第1回	1997年秋 第2回	1998年春 第3回	1998年秋 第4回	1999年春 第5回	1999年秋 第6回	2000年春 第7回	2000年秋 第8回
1級受験者	98	148	187	291	361	385	498	550
合格者数	43	50	48	95	143	159	185	245
合格率	43.90%	33.80%	25.70%	32.60%	39.60%	41.30%	37.10%	44.50%
2級受験者	94	194	241	442	519	953	870	1,441
合格者数	65	115	146	201	272	415	435	817
合格率	69.10%	59.30%	60.60%	45.50%	52.40%	43.50%	50.00%	56.70%
3級受験者	97	168	183	835	989	1,762	1,632	3,603
合格者数	71	136	145	628	747	1,423	1,302	3,111
合格率	73.20%	80.90%	79.20%	75.20%	75.50%	80.80%	79.80%	86.30%
受験者数Total	289	510	611	1,568	1,869	3,100	3,000	5,594
合格者数Total	179	301	339	924	1,162	1,997	1,922	4,173
年別受験者数		799		2,179		4,969		8,594
年別合格者数		480		1,268		3,159		6,095
	2001年春 第9回	2001年秋 第10回	2002年春 第11回	2002年秋 第12回	2003年春 第13回	2003年秋 第14回	2004年春 第15回	2004年秋 第16回
1級受験者	669	903	1,045	1,487	1,720	2,270	2,485	3,109
合格者数	251	398	399	565	764	824	829	1,132
合格率	37.50%	44.10%	38.20%	38.00%	44.40%	36.30%	33.40%	36.40%
2級受験者	1,287	2,097	1,969	2,920	2,827	3,620	3,843	5,042
合格者数	637	1,019	889	1,286	1,132	1,468	1,493	2,211
合格率	49.50%	48.60%	45.10%	44.00%	40.00%	40.60%	38.80%	43.80%
3級受験者	1,293	4,308	2,499	5,630	2,965	9,171	3,822	11,040
合格者数	1,097	3,887	2,221	4,996	2,616	8,223	3,296	9,998
合格率	84.80%	90.20%	88.90%	88.70%	88.20%	89.70%	86.20%	90.60%
受験者数Total	3,249	7,308	5,513	10,037	7,512	15,061	10,150	19,191
合格者数Total	1,985	5,304	3,509	6,847	4,512	10,515	5,518	13,341
年別受験者数		10,557		18,530		22,573		29,341
年別合格者数		7,289		10,356		15,027		18,959
	2005年春 第17回	2005年秋 第18回	2006年春 第19回	2006年秋 第20回	2007年春 第21回	2007年秋 第22回	2008年春 第23回	2008年秋 第24回
1級受験者	1,866	2,438	2,761	3,138	3,406	3,739	4,125	3,884
合格者数	637	936	1,012	1,206	1,248	1,416	1,641	1,422
合格率	34.10%	38.40%	36.65%	38.43%	36.64%	37.87%	39.78%	36.61%
2級受験者	5,994	6,584	6,855	7,799	8,358	10,448	7,020	8,994
合格者数	2,172	2,393	2,588	3,034	2,966	3,969	2,539	3,540
合格率	36.20%	36.30%	37.75%	38.90%	35.48%	37.99%	36.17%	39.36%
3級受験者	3,583	11,996	4,221	13,320	4,795	14,333	9,526	16,796
合格者数	3,089	10,605	3,677	12,004	4,118	12,651	8,386	15,029
合格率	86.20%	88.40%	87.11%	90.12%	85.88%	88.26%	88.03%	89.48%
受験者数Total	11,443	21,018	13,837	24,257	16,559	28,520	20,671	29,674
合格者数Total	6,898	13,934	7,277	16,244	8,332	18,036	12,566	19,991
年別受験者数		32,481		38,094		45,079		50,345
年別合格者数		19,832		23,521		26,366		32,557
	2009年 春期	2009年 秋期						
1級受験者	4,128	4,351						
合格者数	1,466	1,766						
合格率	35.51%	40.60%						
2級受験者	9,356	10,078						
合格者数	3,485	5,195						
合格率	37.25%	51.50%						
3級受験者	8,861	15,678						
合格者数	7,646	13,731						
合格率	86.29%	87.58%						
受験者数Total	22,345	30,107						
合格者数Total	12,597	20,692						
年別受験者数		52,452						
年別合格者数		36,289						

第1回～ 09年秋期(26回)累計	受験者数	合格者数	合格率
1 級	50,042	18,880	37.73%
2 級	109,845	44,482	40.50%
3 級	153,106	134,833	88.07%
Total	312,993	198,195	63.27%

ネイル白書

2008-9

ネイル市場マーケティングリサーチレポート

2. 市場規模推移

1) 市場全体の概要

ネイル産業全体の売上は、2007年実績で1,607億円となっている。2008年には1,995億円に達する見込みとなっており、ネイル産業は“2,000億円産業”といえるまでに成長してきている。2005年には1,114億円余りの市場規模であったので、わずか3年で2倍近い規模と急速な拡大となっている。

2007年は前年比124.4%、2008年は前年比124.1%になると見込まれており、引き続き順調な拡大を続けている。

なお、分野別の市場規模の推移をみると、ネイルサービス市場の伸びが大きくなっており、現在のネイル産業で中心的な役割を担っている。

2) 市場分野別の概要

①ネイルサービス市場

ネイルサービス市場は、2005年には428億円であったが、2007年には914億円となり、2008年には1,295億円になると見込まれている。これはネイルサービス市場の中でも大きな割合を占めるネイルサロンにおいて積極的な出店が続いており、それにとまって売上も増加していることが市場拡大の大きな要因となっている。

これまでの積極的な出店によって一部の地域でやや過当競争との見方が出てきてはいるものの、地方都市などではネイルサロンの出店余地はまだ大きいことに加え、ヘアサロンやエステティックサロンなどにおけるサービスも広がりを見せてきたことなどもあり、現在のところ順調な拡大基調となっている。2008年についても引き続き積極的な出店が続いている。2008年には景気の減速が鮮明になってきたことから慎重な見方をする関係者がいるものの、ほぼ前年並みの伸張が見込まれている。

②消費者向けネイル製品市場

消費者向けネイル製品市場は微減あるいはほぼ横ばいで推移しており、2007年には590億円となっている。消費者向けネイル製品市場では、化粧品の一部としてのネイルカラー（ポリッシュ）が、主力商品として大きな割合を占めてきたが、低価格品の販売が増えたことなどによって近年の売上は減少傾向であり、消費者向けネイル製品市場全体にも影響を与えている。一方では、ネイルアートへの関心が高まりを見せている中で、ネイル専門誌などの最新情報により、セルフケアについては大きな伸びがみられる。ネイルケア用品、アート用品などは順調に売上を伸ばしている。またジェルネイルなどプロ仕様の製品が消費者市場にも流入されつつあり、市場の活性化につながっている。今後は旧来のネイルカラーが減少する一方、これらの新しい製品の増加が期待されている。

なおネイル製品市場のうち、業務用ルートの売上高は、ネイルサービス市場、ネイル教育市場の仕入れとして、これらの市場の売上に含まれるため、ネイル産業全体の規模算出に含めていないが、ネイルサービス市場の拡大にとまって順調に売上を伸ばしていくと推定される。その中でもジェルネイルの増加が大きいと予想されている。

③ネイル教育市場

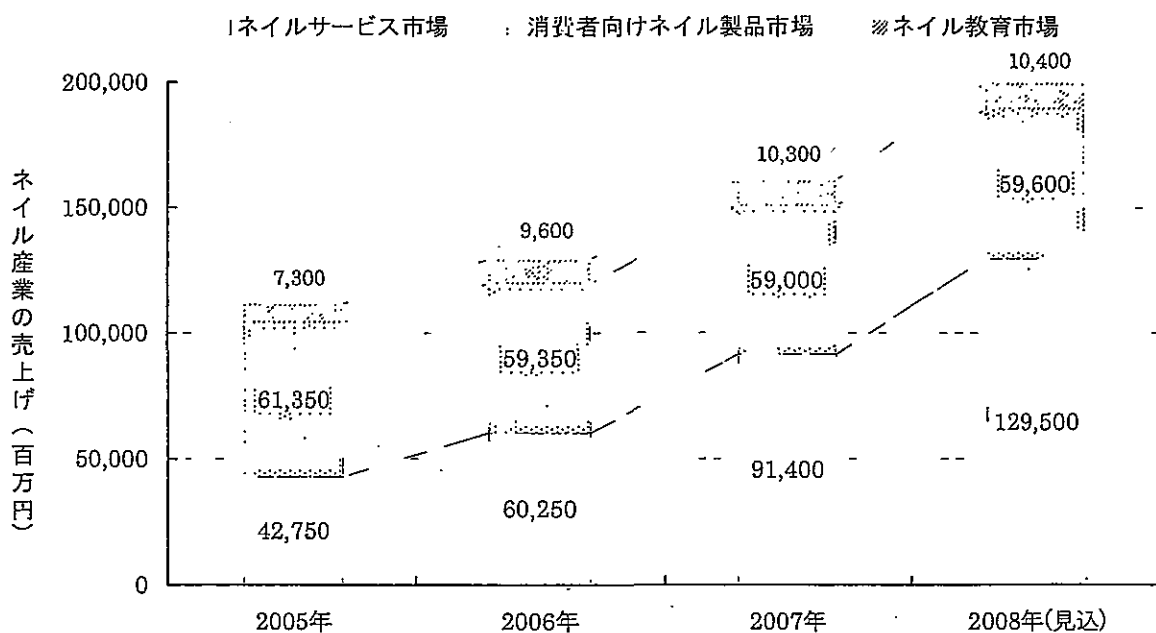
ネイル産業が社会的認知を受ける中で、ネイリスト（ネイル技術者）も職業のひとつとして認知されてきた。その中でネイリストを養成するネイルスクールなどへのニーズも高まり、ネイル教育市場は順調な伸びを見せてきた。

しかしながら、職業としてのネイリストを目指す生徒に加えて職業ネイリストが新しい技術を得るための専門講座を受講するなどの多様化が進んでいることから 2007 年からは横ばいから微増で推移するものと思われる。これには少子化の影響も大きくなっており、大幅な増加に転じる可能性は低いものと推定される。

<分野別販売金額と前年比>

業態・業種	2005年		2006年			2007年			2008年(見込)		
	金額	構成比	金額	構成比	前年比	金額	構成比	前年比	金額	構成比	前年比
ネイルサービス市場	42,750	38.4	60,250	46.6	140.9	91,400	56.9	151.7	129,500	64.9	141.7
消費者向けネイル製品市場	61,350	55.1	59,350	45.9	96.7	59,000	36.7	99.4	59,600	29.9	101.0
ネイル教育市場	7,300	6.6	9,600	7.4	131.5	10,300	6.4	107.3	10,400	5.2	101.0
合計	111,400	100.0	129,200	100.0	116.0	160,700	100.0	124.4	199,500	100.0	124.1

※消費者向けネイル製品市場は末端ベース



5) ネイル産業の就業人口

ネイル産業の就業者数は、2007年実績で44,740人と推計される*。全体の90.5%はネイルサービス市場の就業者であり、特にネイルサロンの就業者は35,000人と推定され、全体の78.2%と多くの割合を占めている。ネイル製品市場の就業者は2,110人で全就業者の4.7%、ネイル教育市場の就業者は2,130人で全就業者の4.8%を占めると推定される。

今後については、人的資本への依存度が高いネイルサービス産業の伸びが続くと予測されることから、ネイルサービス市場の就業者数の増加が予想される。そのため、ネイルサービス市場の就業者が今後も高い割合を占めると推測できる。

<ネイル産業の就業者数 (2007年)>

市場分野		就業人口	
		就業者数 (人)	構成比 (%)
ネイルサービス市場	ネイルサロン	35,000	78.2
	その他	5,500	12.3
	ネイルサービス市場小計	40,500	90.5
ネイル製品市場	業務用製品市場	980	2.2
	消費者向け製品市場	1,130	2.5
	ネイル製品市場小計	2,110	4.7
ネイル教育市場	専門校	850	1.9
	美容学校・その他	1,280	2.9
	ネイル教育市場小計	2,130	4.8
ネイル市場合計		44,740	100.0

*推計上の注意は以下のとおり。

1. 短時間の就業者については8時間に換算した値を利用している。例えば1日平均でネイリストとして6時間、ネイルスクールの講師として2時間働いている場合は、ネイルサービス市場で0.75人、ネイル教育市場で0.25時間就業と推計している。
2. 複数の業務を行っており、勤務時間での推計が困難な場合には、売上高など合理的な方法によって按分して推計をしている。
3. ネイル製品市場のうち消費者向け製品市場については化粧品メーカーの就業者を基本とし、流通業を含まないものとしている。また、推計に当たってはアンケートおよび訪問面接調査の結果に加え、化粧品大手メーカーの公開データを加味して算出している。

2. 市場規模推移

1) 業態・業種別施設数推移

ネイルサービスを施術する施設としては、ネイルサロンをはじめとしてヘアサロン（理容室・美容院）、エステティックサロンやスパ施設などを含むその他が挙げられる。

2007年における日本国内での施設総数は11,350店に達しており、2008年には14,500店と15,000店近くまで増えると推定される。

施設数の内訳を2007年の段階で見ると、ネイルサロンが6,550店、ヘアサロンが2,800店、その他の施設で2,000店となっている。2005年からの推移をみると、需要の高まりとともに新規出店が相次いだことからネイルサロンの店舗数が最も高い伸びを示している。

今後の施設数についても順調な増加を続けると予測される。ただし、今後は新規出店だけではなく移転やリニューアルなどを行う施設が増加することや、エリアによっては飽和に近い状態になる可能性もある。

①ネイルサロン

ネイルサロンは、ネイルサービスの専門店として需要が拡大しており、新規出店が増えている。ネイルサロンは比較的新しいサービス施設であることから、若年層が多く流行に敏感な都市部から出店が進んできたが、都市部を中心として地方へも拡大しつつある。

また店舗の形態もサロンの形態だけではなく、ショッピングセンターの一部コーナーなどへの出店をはじめとして多様化が進んでいる。

このように、ネイルサロンは本格的なサロンから買い物などのついでに気楽に寄れるようなカジュアルな店舗まで裾野が広がっており、店舗数は拡大を続けている。

②ヘアサロン

ヘアサロンはもっとも身近な美容サービスを提供する施設であり、全国各地に店舗が存在している。その中でネイルサービスを提供するヘアサロンは年々増加している。

ヘアサロンがサービスの充実のためにネイルサービスを取り入れていることに加え、卸売業によるネイル関連の製品の販売推進と技術面でのサポートなどの環境整備が進んできたことも見逃せない重要な要素といえよう。

このような環境面の充実はここ数年進んでおり、これからその効果が現れてくると考えられる。さらに、技術的に比較的容易であり、臭いの問題も少ないジェルネイルの普及によって、ネイルサービスの提供を模索している店舗への導入が進む可能性がある。ヘアサロンは数が多いだけに今後の動向が注目されている。

③その他

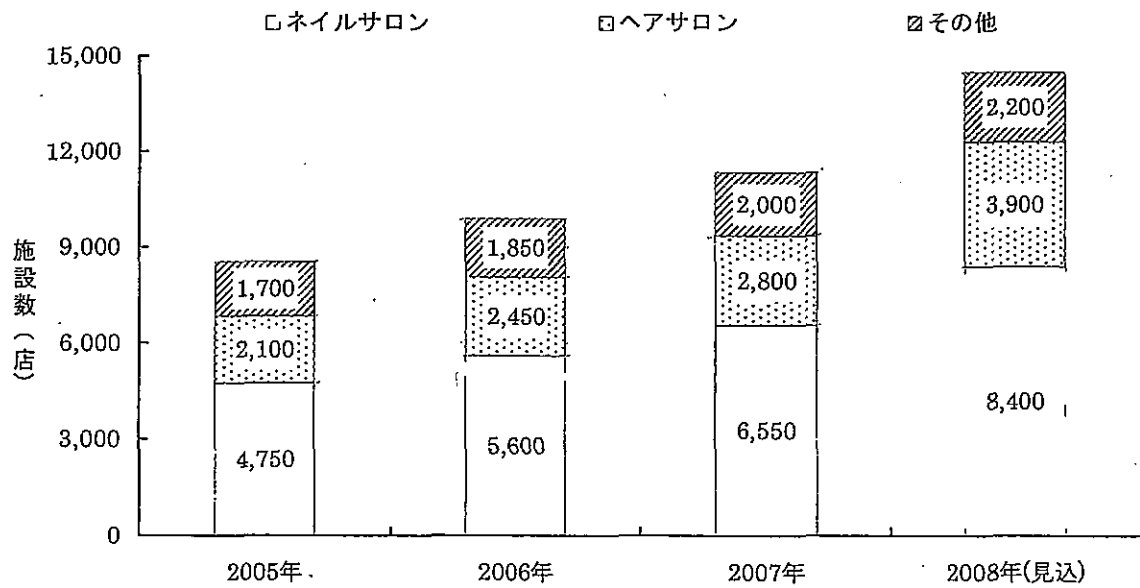
エステティックサロンは、美容の総合サービス化の中でネイルサービスの取り込みをはかっており、ネイルを提供する施設は増えてきている。

ブライダルサロンも総合的なサービスを提供しているネイルの導入が進んできた。また、スパ施設でも導入は進んでいる。しかしながら、これらの業態はもともとの店舗数が限られていることもあつ

て、ネイルサービス提供施設は順調に増えてはいるものの、市場における割合は減少傾向となってきた。今後もこの傾向は変わらないと考えられる。

<業態・業種別施設数推移>

業態・業種	2005年		2006年			2007年			2008年(見込)		
	施設数	構成比	施設数	構成比	前年比	施設数	構成比	前年比	施設数	構成比	前年比
ネイルサロン	4,750	55.6	5,600	56.6	117.9	6,550	57.7	117.0	8,400	57.9	128.2
ヘアサロン	2,100	24.6	2,450	24.7	116.7	2,800	24.7	114.3	3,900	26.9	139.3
その他	1,700	19.9	1,850	18.7	108.8	2,000	17.6	108.1	2,200	15.2	110.0
合計	8,550	100.0	9,900	100.0	115.8	11,350	100.0	114.6	14,500	100.0	127.8



2) 業態・業種別販売実績推移

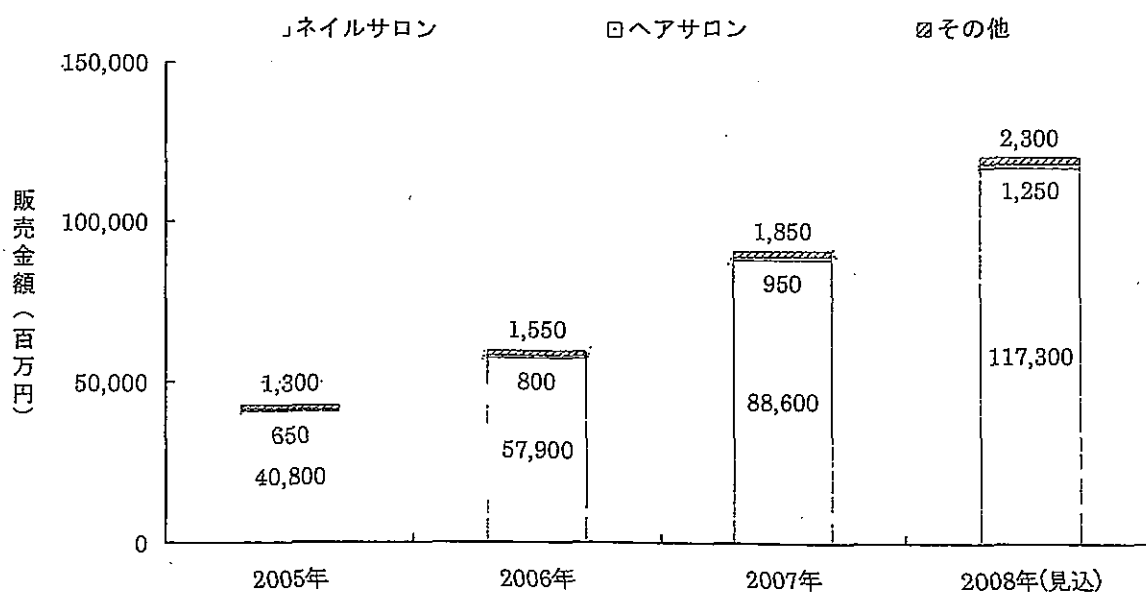
ネイルサービスの市場規模は2007年で914億円と推計され、前年比151.7%と高い伸張傾向を示している。特に施設数の増加率では前年比が115%程度であることを考えると、各施設ベースの売上増が顕著に表れていると言える。

2008年は1,295億円に達すると推計されている。前年比141.7%という伸張率は、2007年と比較するとやや低く感じられるが、2006年の実績とほぼ同じであり、順調な拡大が続くと推測できる。

2009年以降も店舗数の増加を受けて今後も順調な成長が見込まれる。また、ネイルサービスに対する需要の高まりは今後も続くものと考えられ、各施設における集客力が高まることで市場規模は施設数以上の伸張傾向となると見られる。一方で、施設数の増加とともに他店との競合環境がさらに激化していくと考えられている中で、既にサービス料の低価格化も進んでおり、収益性が課題となる可能性も指摘されている。

<業態・業種別販売実績推移>

業態・業種	2005年		2006年			2007年			2008年(見込)		
	販売金額	構成比	販売金額	構成比	前年比	販売金額	構成比	前年比	販売金額	構成比	前年比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%	%	百万円	%	%
ネイルサロン	40,800	95.4	57,900	96.1	141.9	88,600	96.9	153.0	125,700	97.1	141.9
ヘアサロン	650	1.5	800	1.3	123.1	950	1.0	118.8	1,500	1.2	157.9
その他	1,300	3.0	1,550	2.6	119.2	1,850	2.0	119.4	2,300	1.8	124.3
合計	42,750	100.0	60,250	100.0	140.9	91,400	100.0	151.7	129,500	100.0	141.7



3) エリア特性

ネイルサービス市場は東京/大阪/名古屋を含む3エリアでの売上が大きく、全体の40%近くを関東エリア、約25%を近畿エリア、約20%を中部エリアが占めている。この3エリアを合計すると、全国の約85%となっている。この地域はネイルの普及によって競争も激しくなっており、出店競争が加速していることから2007年にはいずれも前年比150%を超える出店がみられた。

既に数多くの施設を有する主要3エリアは一部では近く市場が飽和するという観測もある。これに対して地方都市にはまだ新規出店の余地が多く残されており、新たな需要を掘り起こすことで市場の伸び率で東京/大阪/名古屋を上回る可能性は充分あるといえよう。しかしながら、短期的競争の激しい主要3エリアが今後とも中心的な地位を占めていくと考えられる。

①北海道エリア

北海道は2007年で26億円の売上で、全国の2.8%を占めている。札幌市を中心としてネイルサロンをはじめとするネイルサービスを提供する施設が多くなっている。

②東北エリア

2007年で23億円の売上で、全国の2.5%を占めている。ネイルサービスを提供する施設が多いのは仙台市をはじめとする大都市であるが、大都市中心部においても出店の余地はあり、さらに中小都市を含めれば今後とも堅調な出店が進むと考えられる。

③関東エリア

2007年の売上は350億円以上で、全国の39.0%を占めるもっとも大きな市場を持つエリアとなっている。東京を中心に大都市が多く、ネイルサロンのみならず、さまざまな形態のネイルサービスを提供する施設が多い。東京でも山手線沿線のターミナル駅では競争の激化により出店が増える一方で淘汰が進む可能性も指摘されている。

周辺の都市では、堅調な出店が進むと考えられることから、関東エリア全体としては、順調な伸びを示すと考えられ、今後とも大きな割合を占めていくと推定できる。

④中部エリア

2007年の売上は183億円で、全国の20.0%を占めている。ネイルサロンが多いのは名古屋市であるが、浜松市、静岡市、新潟市など政令市での出店の余地も大きく、今後とも堅調な出店が進むと考えられる。

⑤近畿エリア

2007年の売上で242億円となっており、全国の26.5%を占め、関東エリアに次ぐ市場規模となっている。関東エリア同様、大阪市の中心部では競争の激化により出店が増える一方で淘汰が進む可能性もある。

周辺の都市では、堅調な出店が進むと考えられることから、近畿エリア全体としては、順調な伸びを示すと考えられ、今後とも関東に次ぐ大きな割合を占めていくと考えられる。

⑥中国・四国エリア

2007年の売上は37億円で、全国の4.0%を占めている。ネイルサロンが多いのは広島市などの大都市であるが、瀬戸内地方を中心に都市が点在しており、出店の余地も大きい。今後とも堅調な出店が進むと考えられる。

⑦九州・沖縄エリア

2007年の売上は47億円で、全国の5.1%を占めている。ネイルサロンが多いのは福岡市であるが、まだ出店の余地は大きい。他の都市を含めて今後とも堅調な出店が進むと考えられる。

<エリア別販売実績推移>

年次 エリア	2005年		2006年			2007年			2008年(見込)		
	販売金額	構成比	販売金額	構成比	前年比	販売金額	構成比	前年比	販売金額	構成比	前年比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%	%	百万円	%	%
北海道	1,250	2.9	1,750	2.9	140.0	2,600	2.8	148.6	3,650	2.8	140.4
東北	1,150	2.7	1,550	2.6	134.8	2,300	2.5	148.4	3,200	2.5	139.1
関東	16,450	38.5	23,350	38.8	141.9	35,650	39.0	152.7	50,700	39.2	142.2
中部	8,600	20.1	12,100	20.1	140.7	18,300	20.0	151.2	25,900	20.0	141.5
近畿	11,300	26.4	15,900	26.4	140.7	24,200	26.5	152.2	34,400	26.6	142.1
中国・四国	1,800	4.2	2,450	4.1	136.1	3,650	4.0	149.0	5,100	3.9	139.7
九州・沖縄	2,200	5.1	3,150	5.2	143.2	4,700	5.1	149.2	6,550	5.1	139.4
合計	42,750	100.0	60,250	100.0	140.9	91,400	100.0	151.7	129,500	100.0	141.7